



議会だより

2020

よしか

第54号



# 令和を担う若人!!



- |                  |         |                    |           |
|------------------|---------|--------------------|-----------|
| ▶年頭のあいさつ・議会構成    | …… 2頁   | ▶一般質問・邑南町議会との意見交換会 | …… 9~11頁  |
| ▶第4回定例会・一般会計補正予算 | …… 3頁   | ▶発委・発議・請願・要望・特別委員会 | …… 12~13頁 |
| ▶主な質疑・最近の主な議会動向  | …… 4~5頁 | ▶議員研修              | …… 13頁    |
| ▶臨時会・全員協議会       | …… 6~7頁 | ▶新しい委員会メンバー・編集後記   | …… 14頁    |
| ▶議決結果表           | …… 8頁   |                    |           |

年頭の  
あいさつ

議長  
安永友行



新年明けましておめでとございます。

皆様には、新しき年を心新たにお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、六日市学園、六日市病院の経営問題が浮上し、下七日市では大規模な住宅火災が発生しました。被災されました皆様、一日でも早く日常生活を取り戻されるこ

とを、心より願っております。

学園、病院については、執行部とも議論を積み重ね、町民の皆様の生活と医療・福祉の向上に寄与できればと思います。

私たち議員は、昨年より議会改革について、検討して参りました。

町民の皆様のご意見を聴き、行政に反映することができる仕組みづくりに取り組めます。

皆様のご理解とご協力を賜りますよう、本年もよろしくお願い申し上げます。年頭のごあいさつと致します。

令和二年 新春

【令和元年 12月5日に議会構成が変わりました。】

議会構成

議長	安永友行		
副議長	桑原三平		
委員会名	委員長	副委員長	委員
議会運営(5人)	桜下 善博	藤升 正夫	桑原三平 中田 元 大多和安一
総務常任(6人)	中田 元	三浦 浩明	桜下善博 河村隆行 大庭澄人 河村由美子
経済常任(5人)	大多和安一	庭田 英明	桑原三平 松蔭 茂 藤升正夫
広報広聴常任(5人)	松蔭 茂	大庭 澄人	桑原三平 河村隆行 庭田英明
議会選出監査委員	(1人)		藤升正夫

一部事務組合

益田地区広域市町村圏事務組合議会議員 (4人)	桑原三平 桜下善博 庭田英明 安永友行
鹿足郡事務組合議会議員 (3人)	河村由美子 庭田英明 藤升正夫
鹿足郡養護老人ホーム組合議会議員 (3人)	桜下善博 松蔭 茂 大多和安一
鹿足郡不燃物処理組合議会議員 (4人)	三浦浩明 中田 元 河村隆行 大庭澄人

## 令和元年 第4回(12月)定例会

令和元年第4回定例会が12月5日から12月16日までの12日間開催されました。

31年度補正予算をはじめとする議案20件、発委1件、発議2件、請願1件、要望1件を審議し、8名が一般質問に立ち、町政の課題について議論を展開しました。

## 主 な 議 案

## ◇ 予 算 8 件

・平成31年度吉賀町一般会計補正予算(第7号) ほか7件

## ◇ 条例の制定・一部改正・廃止 10件

・吉賀町長等の給与の特例に関する条例の制定について ほか9件

## ◇ 契約の変更 2件

・請負契約の変更について(吉賀中学校改修工事) ほか1件

## ◇ 発 委 1 件

・医療・介護従事者の全国一律の最低賃金新設と労働条件の改善を求める意見書(案)

## ◇ 発 議 2 件

・会計年度任用職員制度の施行に伴う地方自治体への十分な財政措置を求める意見書(案) ほか1件

## ◇ 請 願 1 件

・日本政府と国会に核兵器禁止条約への調印・批准・参加を求める意見書提出を求める請願書

## ◇ 要 望 1 件

・町政活性化に関する要望書

## 【平成31年度一般会計補正予算(第7号)】

補 正 予 算 額	△61,614千円
補正後の予算総額	7,391,884千円

## 主 な 概 要

## 【歳入】

(単位:千円)

費 目	予 算 額	内 容
地方交付税	53,526	普通交付税
繰 入 金	105,807	減債基金繰入金 109,667 まちづくり基金繰入金 △3,860
町 債	△229,900	緊急防災・減債事業債 △226,500

## 【歳出】

(単位:千円)

費 目	事 業 名	予 算 額	内 容
総 務 費	基幹系システム運営管理費	5,480	母子保健システムの導入・連携システム改修など
〃	企業誘致事業費	8,500	企業立地計画に基づく雇用促進助成及び施設整備補助
民 生 費	児童福祉手当費	3,923	支払年度の変更
農林水産業費	農業振興総務費	2,400	担い手集積支援金の交付
消 防 費	防災設備等整備事業費	△226,529	防災無線設備整備変更に伴う減額
教 育 費	小学校事務局管理費	6,858	小学校教師用教科書・指導書の購入
公 債 費	長期債元金	109,667	合併特別事業債の繰上償還

## 主な質疑

三役（町長・副町長・教育長）の減給可決!!

町長就任以来議会へ提出された資料の大量の差し替えや、職員の不祥事が多発し行政に対する町民の信頼は大きく失われました。その責任をとって三役の減給案が提出され、賛成多数で可決されました。

### 減給の内容

町長 100分の20を減額  
14万4000円(月)  
副町長 100分の10を減額  
6万7500円(月)  
教育長 100分の10を減額  
5万7250円(月)  
町長は3カ月  
副町長・教育長は1カ月

### 三浦議員

不祥事のなかに飲酒運転も含まれている。これは犯罪である。町長の認識は甘いのではないかな。

【町長】

軽んじているつもりは毛頭ない。重く受けとめた上での提案である。

### 大庭議員

警察の処分が決定していないのにこのような責任のとりかたは早すぎるのではないかな。職員の事務的なミスや不祥事を考えれば職員の給与改定も上程するべきではない。

【町長】

警察の結果が出たら分限懲戒委員会を開催して対応していく。今回の件は、まず自らが襟を正す姿勢を示したいということである。

### 河村(中)議員

このことは町長だけの責任ではない。課長をはじめ各部署の職員が使命感を持って仕事に取り組み体制づくりが必要である。

【町長】

最終的な責任は私にある。再発しないよう、体制づくりをしっかり取り組んでいく。

### 藤井議員

事務的なミスを犯さないためのダブルチェック体制はできているのか。職場内でのコミュニケーションが培われるような指導がなされているとは思えない。

【町長】

全てが不十分な体制のもとで出て来た結果である。十分な反省のもとに改善をしていく。

### 職員給料表改正

#### 若年層に厚く

人事院の勧告に伴って給与に関する法律の一部が改正することになりました。これを受けて住宅手当・勤労手当・給料表を改正するというものです。

住宅手当：家賃額の下限を

4000円引き上げる。

勤労手当：年0.05月分引き

上げる。

給料表：30歳代半ばまでの職員が対象。平均改定率で0.1%の引き上げ。

### 中田議員

住宅手当の下限の引き上げというところであるが対象者の職員にどのような影響がでてくるのかな。

【総務課長】

対象者21名のうち増額となる職員が2名、減額となる職員が19名。総額では3万5000円の減となる。

### 桜下議員

不祥事の結論も出ていないなかでの職員給与の引き上げなどは町民の理解は得られない。処分をした上で提案すべきである。

【町長】

町民の声も十分聞いています。しかし、今回の給料表の改定は若い職員に対してのものである。

町を担っていく人材を確保するためにも必要である。



## 朝倉公民館追加工事

当初1億4196万  
6000円の予算に  
475万7500円を追  
加するというもの

【内言】

排水箇所の変更・ごみ置場の設  
置・隣接倉庫解体撤去

庭田議員

何故当初予算に組み込まなかつたのか。また仕事の少ない状況を考えれば入札で発注すべきではないのか。

【教員長】

地元との協議のなかで変更せざるを得なくなった。1億4、000万円の本体工事のなかの400万円はそれ程大きな額ではない。

河村(由)議員

地元業者が参加できる仕組みづくりをするべきである。

【町長】

町内業者への発注を第一に考え

て指名審査会等で協議をしている。

河村(隆)議員

実績を積みといわれても事業が少ないなかでは不可能である。小さな業者も参加できるように考慮するべきである。

【町長】

町内業者に発注できない件については、共同企業体というような形態で機会をもつて実績を積んで頂くと努力はしている。



完成間近の朝倉公民館

## 最近の主な議会動向

月日	用務	出席者	月日	用務	出席者
4	広報広聴常任委員会	広報広聴委員長 議 員	13~15	町村議長全国大会ほか(東京都)	議 長
6	吉賀町障がい者総合支援センター竣工式	議 員	18	邑南町議会との意見交換会	議 員
7	議員自主研修会(広島市)	議 員	19	第4回町政活性化特別委員会	特別委員長 議 員
9	広報広聴常任委員会	広報広聴委員長 議 員	19	山陰自動車道シンポジウム(萩市)	議 長 経済委員長
10	鹿足郡内一部事務組合議会定例会	組合議員	21	吉賀町除雪会議	議 長 経済委員長
11	広報広聴常任委員会	広報広聴委員長 議 員	25	島根県町村議会正副議長・委員長研修会(松江市)	議 長
13	浜田開府四百年記念式典(浜田市)	議 長	29	第12回全員協議会	議 員
16	津和野町文教民生常任委員会視察受け入れ	議 長	29	議会運営委員会	議 長 議 員
16	第1回町政活性化特別委員会	特別委員長 議 員	2	第5回町政活性化特別委員会	特別委員長 議 員
16	吉賀高校支援協議会勉強会	議 長	11	第13回全員協議会	議 員
21	鹿足郡町村議会全議員研修会	議 員	11	第6回町政活性化特別委員会	特別委員長 議 員
23	北海道羽幌町議会視察受け入れ	議 長	12	総務常任委員会	総務委員長 議 員
28	島根県町村議会議員研修会(松江市)	議 員	12	第1回六日市病院特別委員会	特別委員長 議 員
30	第2回町政活性化特別委員会	特別委員長 議 員	12	広報広聴常任委員会	広報広聴委員長 議 員
5	益田地区広域市町村圏事務組合議会定例会(益田市)	組合議員	12	第2回六日市病院特別委員会	特別委員長 議 員
8	益田地域人権・同和問題研修(益田市)	議 員	23	議会運営委員会	議 長 議 員
11	第5回臨時会	議 員	23	第3回町政活性化特別委員会	特別委員長 議 員
11	第3回町政活性化特別委員会	議 員	25	備キヌヤとの包括連携等に関する協定締結式	議 長

## 第5回臨時会

請負契約の締結について  
(七村橋補修工事)

(工事内容)

- ・塗装工 PCBを含む塗料をはがして塗り替え
- ・橋梁補修工 床版コンクリート取り替え

藤升議員

七村橋には荷重制限があるが、補修により変わるのか。

【建設水道課長】

現在も、補修後も6トンである。

桑原議員

まだ他にも町内に、PCBを含んだ橋があるのか。

【建設水道課長】

55橋のうち、11橋を現在調査中である。

藤升議員

処分期限があるのでは。

【建設水道課長】

低濃度PCBは、令和9年3月31日までである。



補修前の七村橋

## 第12回全員協議会

主な議題

地域商社設立の検討状況

地域商社とは…地域の産品資源を発掘し、磨き上げ、販路開拓を行うことで従来以上の収益を引出し、そこで得られた情報、収益を生産者、事業者還元する仕組み。

町では、産業課内に設立準備室 (組織)

役割別に3つの組織をつくり実施  
社員のアドバイスを受け、2021年までの運営開始を目指している。

目的

- ・吉賀町内の地域産品を、地域外販売
- ・吉賀町と近隣溪谷地域の価値を創出する組織づくり

(組織)

- ・役員別に3つの組織をつくり実施
- ・財団法人…公益事業で、産業及び担い手を支援する組織
- ・株式会社…収益事業で、地域資源を活用して利益を創り出す組織

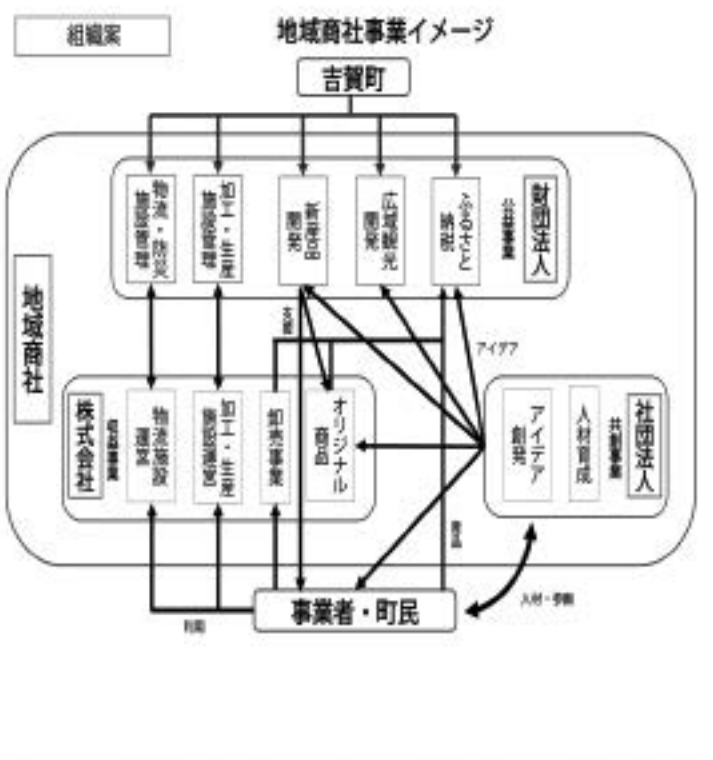
育成する組織

・社団法人…共創事業で、人材確保、

育成する組織

地域商社は地域の価値を創り出し、自立していくことで継続的な事業運営を行う。

### 地域商社事業イメージ



Q 基となる調査をされたか、またその報告書はないか。

A 2月開催予定の全員協議会で報告する予定である。

Q 人材は確保できるか。

A 若い人のみならず、シルバー人材センターに登録してもらおう。

Q 設立や、人件費用はどれくらいか。

A 6月の議会で提案する予定である。

Q この地域や、土壌に合った産品の拡大は可能か。

A 財団法人の事業の中で検討していく。

Q 観光開発や、物流防災施設もするのか。

A 町内には、130を超える小川や谷がある。深谷の町の産品として、付加価値をつけて売出す。

Q 組織のあり方は、第三セクターか。

A 株式会社と社団法人については、民間と考えている。



吉賀町真田グラウンド駐車場及びサブグラウンド用地取得について

土地取得費については、当初鑑定価格を参考に、2462万4千円を試算していたが、議会からの意見も入れ、地元圃場整備組合と協議し、458万4千円(1万7014㎡)と大幅な変更となった。

圃場整備との関係上、土地開発基金で取得し、当面残土処理場として有効利用する。

サブグラウンド・駐車場の整備については、議会・町政座談会での意見を参考にし、穏やかに進めることになった。

吉賀町太陽光発電設備の設置及び管理に関するガイドラインについて

町内に設置される事業用太陽光発電設備について、災害の防止、環境及び景観の保全、町民の安心安全を確保するために設ける。

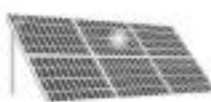
町への事前協議、地域住民への

説明会の開催、事業の実施や維持管理にあたり配慮すべき事項を定める。

【対象】

太陽光発電設備の出力合計が、50キロワット(約500㎡)以上のもの。

令和2年1月1日より施行し、4月1日より適用する。



## 第13回全員協議会

### 主な議題

第3次及び第4次行政改革について

第3次までは、健全化指針を策定し、一定の健全化が図られたが、歳入歳出ともに大きな課題が残っており、引き続き持続可能な財政運営を目指し健全化計画を策定する。

令和2年度、朝倉保育所の運営について

令和元年11月1日現在、入所者は、1歳児1名のみである。

2年度の新規入所者も見込めない中、朝倉自治会長より運営継続の要望が提出された。

検討された結果、元年12月末時点で入所児童数5名確保が見込めない場合は、朝倉保育所の2年度以降の運営を休止する。



朝倉保育所

## 『議決結果表』 (議長は、可否同数の場合を除き採決に加わらない)

## 【全員賛成で可決した議案】

	議案番号	件名
第4回 定例会	議案第73号	請負契約の締結(町道朝倉真田線七村橋補修工事)
	議案第74号	請負契約の締結(吉賀中学校改修工事)
	議案第77号	地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定
	議案第79号	吉賀町地区集会所施設条例の一部改正吉賀町地区集会所施設条例の一部改正
	議案第80号	吉賀町災害弔慰金の支給等に関する条例の一部改正
	議案第81号	吉賀町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
	議案第82号	吉賀町定住促進住宅条例の一部改正吉賀町定住促進住宅条例の一部改正
	議案第83号	吉賀町営住宅条例の一部改正吉賀町営住宅条例の一部改正
	議案第84号	吉賀町特定優良賃貸住宅条例の一部改正
	議案第85号	吉賀町障がい者地域活動支援センター条例の廃止
	議案第86号 ～第92号	平成31年度吉賀町水道事業会計補正予算(第1号)ほか6件
	議案第93号	平成31年度吉賀町一般会計補正予算(第7号)
	発議第6号	会計年度任用職員制度の施行に伴う地方自治体への十分な財政措置を求める意見書(案)
	要望第7号	町政活性化に関する要望書

## 【賛成多数で可決した議案】

○:賛成 ●:反対

	議案番号	件名	桑原	三浦	桜下	松陸	中田	大多和	河村(隆)	大庭	河村(由)	庭田	藤升	
第4回 定例会	議案第75号	請負契約の締結(朝倉公民館建築工事)	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	
	議案第76号	吉賀町長等の給与の特例に関する条例の制定	○	○	●	○	○	○	●	○	○	●	○	
	議案第78号	吉賀町職員の給与に関する条例の一部改正	○	●	○	●	○	○	○	●	○	○	○	
	発委第3号	医療・介護従事者の全国一律の最低賃金新設と労働条件の改善を求める意見書(案)	○	○	○	●	○	○	○	○	●	●	○	
	請願第1号	日本政府と国会に核兵器禁止条約への調印・批准・参加を求める意見書提出を求める請願書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
	発議第7号	日本政府と国会に核兵器禁止条約への調印・批准・参加を求める意見書(案)	○	○	●	○	○	○	○	○	○	●	●	○



県道の安全確保を



大庭 澄人

**質問** 県道六日市錦線は道路幅が狭くカーブも多い上、車両通行量も多い。歩道での自転車通行が可能であるが、歩道の未整備箇所が点在しており、危険な道路である。

**回答** 通行車両にとっても安全に通行できる事は最優先であり、町は県に中途半端ではなく、しっかりとした道路整備の要望をすべきだ。

**質問** 歩行者を取り巻く道路環境が大きく変わっている事は十分承知しており、安全確保は重要な課題であると認識している。

**回答** 路肩を拡幅する事業が完了したので、改めて鹿足土木協会等を通じて正規な歩道整備に

ついて強く要望している。

新たな財源で  
魅力ある町を

**質問** 厳しい財政状況の中で新たな財源を求める事が重要な課題だ。

**回答** 自然豊かな資源を生かし、利用されない多くの資源を活用し、ゆ・ら・ら等とコラボして、観光振興による財源確保を。

**質問** 新たな財源としては、ふるさと納税に大きな魅力と可能性を感じている。

**回答** 観光振興については地域商社設立の流れの中で商工会、観光協会と連携をしながら、可能性を追求して行く。

六日市学園の存続について



桜下 善博

**質問** 六日市学園は、3年後閉校が決定しているが、学園の復活なくして六日市病院の存続はあり得ないと思っ

**回答** 現に、病院の看護師、介護福祉士の70%が学園の卒業者で占められ、学園の存在が町の財政に大きく貢献している。

**質問** 卒業後も、六日市病院で勤務している人は看護師、介護福祉士が延べ約1200人に上っている。

**回答** 町の歳入の約50%は人口等に対する国からの地方交付税で占められている。

**質問** 学園の存在が、当町の医療、介護、福祉の経済に大きく貢献をしている。

**回答** 六日市学園の存続に

ついて町長の考えは、

**回答** 六日市学園の閉校は、町財政、地域経済に対してマイナス面が生じると認識している。

**質問** 理事会の閉校決定は非常に残念ではあるが、財政支援の申し出があれば、協議をする準備はしている。

**回答** 町、県、病院で構成されている医療・介護あり方検討会議では、学園の存続について検討されているか。

**質問** 将来の六日市病院のあり方についての検討を第一に考えている。

**回答** 六日市学園に限定した議論はしていない。

地域公共交通機関の形成計画について



中田 元

**質問** 公共交通不便地域の立河内・幸地エリアについて聞く。

**回答** 対象者は、65歳以上で運転免許の無い本人のみ利用可能で、1カ月5千円のタクシー券を助成する。換金は不可能である。おつりはなし。3000円の自己負担、町内利用に限る。

**質問** 800円のタクシー利用で千円券と3000円負担すると業者が500円儲かる仕組みではないか。

**回答** バス運行で六日市地区、柿木地区では異なった形態で運行されている。六日市地区では自宅前で乗降したいという声が多く聞かれる。

**質問** 町内全域で運賃が高いうちという声が多かった。

**回答** 運賃は現状とする。

1〜2km以下は1000円、2km以上は2000円、3km以上は3000円というような運賃の考えは、

**回答** 六日市市街地の循環バス運行をすることにすれば運行時間やルートの設定にも影響すると思う。バスの利便性が上ると、町内タクシー2業者の運営にも影響がある。

**質問** 千円券について、遠い方は片道千三百円で本人負担3000円、相乗りを推進し月5回分とした。業者はタクシー料金から3000円を差引き町に請求する。

**回答** 地域内、デマンドバスの蔵木、蓼野、高尻線は区域内運行に変更し運賃は現状とする。

財政の見通しについて



河村 由美子

**質問** 本町の一般会計の総予算の内、民生費が高齢化の進展により年々増加し全体の25%も占めている。

町運営の施設管理費、子育て支援、病院からの財政支援要望、他の市民団体からも活性化要望書が提出されている。

中期財政計画では10年後には基金が枯渇とある。限られた予算で、適正な投資をして来たのか。

コスト計算等正確な数値で議論し、実行することが急務と考える。

①人口動態の数値をもつて職員の適正規模を検討すること、②未使用の構造物を撤去して流動化を図る、③営利を伴う公共施設は売却、

譲渡する等、全体のスリム化を図り、将来の財政負担軽減をするべきである。身を切る覚悟で財政健全化を図るべきである。

**町長** 確かな財政運営を図る覚悟は当然である。中期財政計画においては現在の施策をそのまま継続すると10年後には基金が枯渇する。今後、多様な住民ニーズを踏まえた施策を展開する一方で、緊急度、優先度等を政策的、経済的に判断した事業展開を図る。

先頭に立ってマネジメントを強化しながら個別計画での費用対効果、未収金対策も含めて財政確保に努めていく。

災害対応について



河村 隆行

**質問** 昨年5月12日に発生した七日市建物火災は、消防隊員、団員240人、消防車両38台が出動して、3時間半後に消火された。

今回の火事で、現場での指示、判断は的確であったか、人員、機材はどうであったか。水利に関しては、どうであったか。

このようなことを、一つ一つ検証し、改善点があれば協議し、みんなで共有していく。このことを教訓に、シミュレーションや、訓練をするべきと思うが、考えを聞く。

**町長** 8月6日と、9月30日に意見交換会を開催した。被災された方々、警察、消防、社協、

自治会、行政などが集まり、振り返って意見を出し合った。消防に関しては、サイレンの吹鳴の方法や、資機材の管理がどうであったか、現場の水利がどうか、現場の水利がどうか、現場の水利がどうか、消防団の本部会、幹部会で議論している。意見交換会での課題もあり今後の対応を引き続き検討していく。

災害時の避難行動要支援者への対応は



藤 升 正 夫

**質問** 自治会役員に避難行動要支援者名簿が提供されていない。

自ら避難することが困難で避難するのに支援を要する方の、避難行動支援に関する取組み方針には、名簿の作成と活用、避難行動支援に係る地域の共助力の向上が示されている。町の取組みを聞く。

**町長** 支援を行なう関係者は、消防団、消防署、警察署、民生児童委員、社会福祉協議会、自主防災組織や自治会となっている。

作成された名簿を平時の段階で共有しているのは役場と社会福祉協議会、自治会、自主防災組織等へは、希望があれば、登載に同意

**町長** 名称については、成案に向けて事務を進める中で自ずと出てくる。一括コピーネーターは必要だと思っている。



農業の産地化促進は



三浦浩明

**質問** 当町の農業は、水稲栽培を主流にミニトマトやワサビなどが生産されているが、高齢化の影響を受け毎年耕作地の荒廃や担い手不足の現状を目的にしている。

**回答** 今後の農業に対する産地化を目指していく場合、当町として農業者に対してのテコ入れが必要と考えるが、町づくりの一環として、農業者に対して産地化促進のための手厚い支援が必要ではないか。

**町長** これまで機械整備や施設整備に対して、国や島根県の事業を活用し補助金の上乗せ等も行いながら農家の負担軽減も図ってきた。高齢化や担い手不足に

より生産量も伸び悩んでいるのが現状で、農地の荒廃も懸念される。当町のように小規模経営農家が多く、さまざまな生産者や組織がある中で、どのような支援が効果的なのか十分検討し、農家所得の向上、農地の維持、就農者の確保などに繋げられるよう、財政状況も厳しい中ではあるが、今後でもできる限りの支援を続けるための施策を展開していきたい。また、8月に農業者団体の産地化推進支援の制度化に関する要望書も採択されており、来年度の当初予算に反映できるように制度設計に努める。

公民館のあり方は



桑原三平

**質問** 住民自治の力を高める・伸ばす。自分たちで出来ることは自分たちでしようとする人を育てるのが公民館の役割である。

**回答** 現在、素案について住民の方にアンケートを実施しているが、素案では主事を二人とするとのことだが、公民館を具体的に動かすのは地域の住民や運営協議会である。

自治振興交付金事業に特化した担当者なく総合的に地域内を幅広く活動する職員として、一人は町長部局の正規職員とすることが必要だと思いが。

**町長** 現在のところ、非常勤嘱託職員としての雇用を考えている。

公民館の所管は従来どおり教育委員会で行うが町長部局での柔軟な対応の考えもある。

社会教育を中心とした公民館だったが、ここに地域振興、自治振興という新しい枠を入れていくという考え方で、広い意味での自治振興担当の公民館主事を増やすということだ。採用の詳細についても年齢や経験も考慮し検討する。公民館単位での意見を聞いてるので集約し整理して議会に提案したい。

今回、来年度の職員を募集している中、新しい試みということで社会経験枠として年齢を31歳から40歳、3年以上の勤務年数を資格要件としている。



邑南町議会との意見交換会

邑南町議会との意見交換会開催

11月18日(月)に邑南町議会の議会改革特別委員会(辰田直久委員長ほか4名)の皆さんが来町されました。

当町議会からは議会活性化特別委員会を中心に7名の議員が出席し、お互いの議会が抱えている現状を出し合い、議会改革・活性化に向けた意見交換を行いました。

発委・発議・請願・要望

発委

(委員会が提出した議案)

▼【発委第3号】

医療・介護従事者の全国一律の最低賃金新設と労働条件の改善を求める意見書(案)

提出者 町政活性化特別委員会

委員長 藤升 正夫

【理由】

医療・介護従事者の定着を促すため

○審査結果

本会議採決 可決(賛成多数)

発議

(議員が提出した議案)

▼【発議第6号】

会計年度任用職員制度の施行に伴う地方自治体への十分な財政措置を求める意見書(案)

提出者 藤升 正夫

【理由】

会計年度任用職員制度の施行に伴う町の財政負担を国に求めるため

○審査結果

委員会採決 可決(全員賛成)

本会議採決 可決(全員賛成)

▼【発議第7号】

日本政府と国会に核兵器禁止条約への調印・批准・参加を求める意見書(案)

提出者 藤升 正夫

【理由】

平和な世界の実現のため

○審査結果

本会議採決 可決(賛成多数)

請願・要望

▼【請願第1号】

日本政府と国会に核兵器禁止条約への調印・批准・参加を求める意見書提出を求める請願書

提出者 吉岡 初枝

○審査結果

本会議採決 採択(賛成多数)

▼【要望第7号】

町政活性化に関する要望書

提出者 大庭 次男 外2名

○審査結果

委員会審査 採択(全員賛成)

本会議採決 採択(全員賛成)

『町政活性化特別委員会報告書』

6回の特別委員会を開催し、全員賛成で採択と決した

▼審査意見

【要望の要旨】

この要望書は、

(1) 学校法人六日市学園六日市医療技術専門学校と社会医療法人石州会六日市病院の存続

(2) 町内企業等の労働者不足に対する住環境整備への町当局の積極的な関与

(3) 町の公共施設のあり方については、スピード感を持って検討し、健康増進交流促進施設存続のための大改革 を求めている。

【意見】

町長を先頭に、積極性とスピード感を持って次の事項に取り組みたい。

(1) 六日市学園の介護福祉科(定員40名)は、六日市学園が平成30年9月に実施した経営診断によると収支分岐点の学生数27名を確保できれば赤字経営とならないというものであり、経営の承継を含め学園存続に向けて積極

的に関与されたい。

(2) 経営者、金融機関、県、商工会、吉賀町（企画課、産業課）などで構成する組織を設置し、住環境整備を含む幅広い情報の積極的開示と共有を行い、官民の不断の協議が出来る体制を構築されたい。

(3) 公共施設の個別管理計画の策定を計画通り完了させること。未使用となつている施設の廃止及び統合・複合化を検討されたい。廃止等を行う施設については関係者と丁寧に協議を進められたい。

## 議員研修

### 吉賀町議会議員自主研修会

〔開催日〕 令和元年10月7日（広島市）

〔研修内容〕

「施設老朽化時代の公会計情報の活用と地方議会の役割」

講師 日本公認会計士協会

公認会計士 川口 雅也 氏

議員の自主研修として公認会計士による研修へ参加した。今後の町運営について大変参考になった。

### 鹿足郡町村議会議員研修会

〔開催日〕 令和元年10月21日（吉賀町）

〔研修内容〕

「地方公共団体金融機構について」

「地方公共団体における国際交流について」

講師 地方公共団体金融機構

主査 広富 将司 氏

六日市基幹集落センターで行われた。在留外国人や訪日外国人の状況等の講演が行われた。吉賀町の今日的話題でもあり意義深いものであった



鹿足郡議員研修会

### 島根県町村議会議員研修会

〔開催日〕 令和元年10月28日（松江市）

〔研修内容〕

「最先端技術で変わる地域と自治体の未来」

講師 株式会社総合研究所

井上 岳一 氏

「地方議会改革の動向と課題」

講師 山梨学院大学 法学部教授

江藤 俊昭 氏

ITやAI活用によって自治体や民間企業も急速に変化する。自治体が生き残るために、どのようにすべきかを学んだ。

### 益田地域人権・同和研修会

〔開催日〕 令和元年11月8日（益田市）

〔研修内容〕

「外国人の人権について」

講師 韓国語講師 福島 明淑 氏

韓国人の女性の方の講演で「日本に暮らしてみても感じた事」という演題で文化の違いや差別等を感じた。

これからはお互いに理解し、共生共存の社会をつくる必要がある。

新しい委員会メンバー

議会運営委員会



大多和 安一 桑原 三平  
中田 元 桜下 善博(長) 藤升 正夫(副)

総務常任委員会



河村 隆行 桜下 善博 大庭 澄人  
河村 由美子 中田 元(長) 三浦 浩明(副)

経済常任委員会



松蔭 茂 桑原 三平  
庭田 英明(副) 大多和 安一(長) 藤升 正夫

広報広聴常任委員会



桑原 三平 河村 隆行  
庭田 英明 松蔭 茂(長) 大庭 澄人(副)

編集後記

希望に満ちた新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。

今年は雨や雪が少なく暖冬傾向で、春の田植えが心配です。

議会だよりの編集メンバーが替わり、一同、志を新たにして、広報広聴に努めます。

議員全員で議会改革について検討、討論を重ねこれより実践・実行していきます。

町民の皆様の御理解、そして議員全員の奮起により発展する町を目指します。

町民の皆様と議会とが更に近づく橋渡しの出来る議会広報に努めたいと思っております。

よろしくご協力をお願い致します。

(文責 松蔭 茂)

広報広聴常任委員長 松蔭 茂

副委員長 大庭 澄人

委員 河村 隆行

委員 庭田 英明

委員 桑原 三平